資料5-5



2020デジタルサイネージの実現に向けて

W3C 岸上順一 6/8/2015

インターネット技術の活用とクラウド連携

実装が期待される機能

- •属性情報を踏まえた情報提供機能(多言語、位置情報、身体情報)
- ·双方向通信機能(Wi-Fi機能搭載)
- ・他のデバイス(スマートフォンやICカード等)との連動機能
- •一斉配信機能

インターネット技術・クラウド連携を活用することで、効率的な機能連携と相互接続の確保を実現

期待される効果

■端末の低廉化

- ■コンテンツのマルチユース化
 - ・コンテンツ流用が可能(各種メディアへの対応が容易)
- ■外部デバイスとの連携が容易
 - ・スマートフォンやICTカードといった他のデバイスとの連携

インターネット技術とクラウド連携によるデジタルサイネージ

